

**令和5年度（2023年度）大阪府受託事業  
病院と在宅医療を担う訪問看護ステーション・福祉関係施設の相互研修  
実施要項**

1. 目的

地域包括ケアシステムの構築に向け、「病院完結型」の医療から地域全体で治し支える「地域完結型」の医療への転換が進む中、入院患者が安心・安全に住み慣れた地域での生活に移行するためには、病院から地域へ途切れることのないチームケアの提供体制を整備することが急務である。そのために、病院に勤務する看護職員と地域での療養を担う場の看護職員が、各々の役割を理解し他の職種と連携をとりながら、治療の場から暮らしの場へスムーズに移行するために必要なマネジメントの視点と看護の提供について相互に学ぶ。

2. 研修対象

- ①大阪府内の地域での療養を担う訪問看護ステーション・施設の看護職員（保健師、助産師含む）、ケアマネジャー、社会福祉士（以下、「看護職員等」という。）
- ②大阪府内の医療機関（病院）に勤務し、入退院支援・退院調整に携わる看護職員等  
**※いずれも研修全日程に参加できる方。**

**【注意】訪問看護ステーションの実習では、自転車を使用して訪問先に行っていただきます。**

	ステップⅠ	ステップⅡ
受講条件	研修対象者であればどなたでも申込可	ステップⅠを受講した保健師・助産師・看護師
研修期間	全3日間 (講義2日間、見学実習1日間)	全4日間 (見学実習3日間、講義1日間)
研修日(予定)	1日目：(講義) 9/23 (土) 2日目：(実習) 9/25 (月)～11/2 (木)の期間で1日の見学実習 <u>※申込時に希望を伺いますが、ご希望に添えない場合もあります。</u> 3日目：(演習) 11/12 (日)	1～3日目：(実習) 11/20 (月)～12/27 (水)の期間で3日間の見学実習 <u>※申込時に希望を伺いますが、ご希望に添えない場合もあります。</u> 4日目：(演習) R6年1/13 (土)
受講料	6,600円 ※別途手数料154円 (実習などの交通費は自己負担)	8,800円 ※別途手数料154円 (実習などの交通費は自己負担)
募集人数	・看護職員 60名程度 ・ケアマネジャー、社会福祉士 20名程度	15名
研修場所	公益社団法人大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 実習協力訪問看護ステーション、実習協力福祉関係施設、実習協力病院	

3. 申込方法

大阪府看護協会 研修申込サイトより申込

**【申込期間】** ステップⅠ：2023年7月24日(月)～2023年8月18日(金)

ステップⅡ：2023年7月24日(月)～2023年9月8日(金)  
(どちらも定員に満たない場合は延長)

#### 4. 研修概要

##### <ステップⅠ>

###### 【研修目標】

- 1) 地域包括ケアシステムの基本的な考え方を理解し、システム構築に向けた取り組みの実際について理解する。
- 2) 地域包括ケアにかかわるさまざまな職種の役割と機能について理解する。
- 3) 地域における自施設の役割を再確認し、今後の自己の取り組みにおける課題を明確にする。

※時間割は変更になる場合があります

日程		内容	講師
1日目	10:00～11:15 (75分)	医療と介護・地域をつなぐ連携の実際 ・地域包括ケアシステムの概要 ・医療ソーシャルワーカーの役割 ・医療保健と介護保健制度について	退院調整・地域医療連携担当者
	11:25～12:30 (65分)	医療と介護・地域をつなぐ連携の実際 ・看護小規模多機能居宅介護施設とは ・地域における多職種連携の実際	看護小規模多機能居宅介護施設管理者
	12:30～13:30 (60分)	昼休憩	
	13:30～14:35 (65分)	医療と介護・地域をつなぐ連携の実際 ・ケアマネジャーの役割	介護支援専門員・社会福祉士等
	14:45～16:00 (75分)	医療と介護・地域をつなぐ連携の実際 ・訪問看護ステーションの立場から	訪問看護ステーション管理者
2日目	実習施設の勤務時間	【見学実習】 ・病院所属の方→訪問看護ステーションに実習 ・病院以外の所属の方→病院の地域連携室等に実習	各実習施設の指導者
3日目	10:00～13:00 (10分休憩含む)	【グループワーク】 ・地域における自施設の役割と自己の役割、今後の課題を明確にする。 ・グループ内で共有した内容・取り組んだことを発表できるよう整理する	<講師・ファシリテータ> ・看護管理者 ・薬剤師 ・社会福祉施設管理者等
	13:00～14:00	昼休憩	
	14:00～16:00	【グループ発表・質疑応答・まとめ】 ・発表	

<ステップⅡ>

【研修目標】

- 1) ステップⅠでの学びをふまえて、地域での療養環境をマネジメントする際に必要となる考え方や姿勢、方法を学ぶ。
- 2) 退院支援・調整における、今後の自己の役割、課題を明確にする。

日程	内 容	指導者・講師
1日目	・訪問看護ステーションもしくは病院施設にて3日間実習	各実習施設の指導者
2日目		
3日目		
4日目 10:00～16:00  (昼休憩1時間・休憩時間含む)	「実習での体験を振り返り、退院支援・調整における今後の自己の役割・課題を明確にする」  ①「実習での体験・経験」「退院支援・調整における今後の自己の役割や課題」等について、グループ内で共有。 ②全体共有。 ③まとめ	・病院で退院調整担当等を行っている管理者 ・訪問看護ステーションの管理者

5. その他

- ・この研修に係る修了証は発行いたしません。
- ・実習場所や日時の指定など個別のご希望には対応できませんのでご了承ください。